

## 中学生の「税についての作文」

大川大木租税教育推進協議会 会長賞

### 税金の使い道

大木町立大木中学校

三年 石崎 遠 和

税金の使い道は五つあります。その中で最も多く税金が使われているのは、社会保障費です。社会保障費の主な内容は、子育て支援、介護、年金、医療費、生活保障費です。近年では、この社会保障が膨らみ過ぎていくことから、年金の給付年齢が引き上げられたり、二〇一七年の八月からは70歳以上の高額療養費の自己負担額が増えたり、と社会保障の使い道については見直しがされています。二つ目に多いものは、国債です。これは過去の国債の返済です。実は日本の社会保障費は毎年、約九兆円足りていないそうです。でも、その足りていないお金を国債で賄っているそうです。国債を発行するということは、国が国民に借金しているということです。そのため、現在日本の借金は約千兆円という膨大な金額に膨れ上がっています。日本国民として自分にもこの国債としての借金があること、多くの税金がその返済に充てられていることを知っておかなければいけません。三つ目は地方交付税交付金です。地方交付税は、国が地方から徴収してから、その後に分配されています。過密と過疎など、地方と都心部など、自治体によって徴収できる税金が違うためです。四つ目

は公共事業関係費です。公共事業関係費は、住宅や道路の整備のために使われています。五つ目は文教及び科学振興費です。文教及び科学振興費は、教育や科学技術をさかんにするために使われています。

これらのことから、税金は、生活や医療や年金などに多く使われている

が、国民が暮らしやすいように、国が、住宅や道路の整備、教育や科学技術をさかんにするためや国の防衛や発展途上国の支援のためなどいろいろなことに使われていることが分かりました。でも、今の日本は少子高齢化が進んでおり、国民が税金をどのように負担し、その納められた大切な税金を無駄なく、どのような費用に使い、そして、これからの日本をどんな国にしていくかは、僕たち国民が選択しなければならぬということになりました。そのためにも、税金について、もっと関心をもって、より正しく理解したいと思いました。税金は国際協力にも使われていて、発展途上国の自立支援など、国民以外にも、税金を使っているのです、日本はとても良い国だと思えました。僕も、飢餓に苦しんでいる人たちのために、自分にできることを考えて、税金をおさめて、人の役に立っていかうと思えました。

